

基本チェックリスト調査にご協力いただいている皆様へ

長野保健医療大学の研究にご協力お願いいたします。

2024年3月25日

「基本チェックリスト」に関する調査研究を実施しています。

毎年1回、65歳以上の方々に基本チェックリストに回答していただいています。回答の結果は、地域包括支援センターで過去の回答分を含め分析や将来予測、今後の介護予防対策の計画・検討の資料として使用しています。上記の目的で回答結果を、健康増進事業の連携機関である長野保健医療大学に提供し共同して分析を行っております。このような研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。今年度は介護予防事業の充実を図るため、従来の分析に加え下記の研究を計画しております。下記に示す研究については信州大学医学部医倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施します。

倫理審査承認番号	
研究課題名	飯山市在住高齢者の健康状態・生活機能の推移と要介護、施設入所、余命との関連性の解析
所属(診療科等)	信州大学 総合医理工学研究科
研究責任者(職名)	倉澤康之(総合医理工学研究科 大学院生)
研究実施期間	医学部長による許可日～2026年3月31日
研究の意義、目的	現在、高齢による虚弱(フレイル)が問題となっており、飯山市では基本チェックリストを用いた健康調査をしています。2019年から4点以上のプレフレイル、8点以上のフレイルの危険性が疑われる方には健康を損なわないためにメッセージによる注意喚起が行われています。この研究では、注意喚起が翌年の健康状態に与える効果を検証します。2018年度から2022年までの間に蓄積された基本チェックリストの回答結果を用い、フレイルを判定する点数の前後で介護予防の注意喚起を受けた方と受けていない方の2群に分類し、翌年の基本チェックリスト得点を用いて注意喚起の効果を検証します。これによってより良いアドバイスの方法を検討し、皆様の健康に貢献します。
対象となる方	2018年から2022年の調査時に65歳以上かつ、要介護認定を受けていない方で基本チェックリストに回答のあった全ての方。
利用する診療記録	年齢、性別、基本チェックリスト、介護保険台帳
研究方法	市役所内で個人が特定できない状態の情報に変換されたデータを用いて基本チェックリストの回答を分析します。
共同研究機関名	本研究は、長野保健医療大学、信州大学、群馬大学で実施されます。

問い合わせ先	長野保健医療大学 保健科学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻 助教 倉澤 康之 電話:026(283)6111
--------	--

市からの調査結果を集計しますので、大学が新たな情報を求めることはありません。

個人を直接特定できる個人情報がありません。

必要な情報のみを集計します。研究結果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、ご協力いただいた方を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の回答結果を利用することをご両界いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡下さいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、資料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を破棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。